

# 第1回みどり戦略学生チャレンジで 「サステナ未来賞」と「リスペクト賞」受賞！

高田農業高校農業生産コース作物専攻は、昨年度末、農林水産省主催「全国版・第1回みどり戦略学生チャレンジ」に応募しました。

取組み内容は、継続して調査研究している「GLOBALG. A. P. 認証米の海外輸出と GAP 認証の普及活動」についてです。今年度1年間、オンライン形式での発表参加やポスターの作成、取組みの改善などを行い、2月12日（木）にオンラインで行われた、北陸農政局管内表彰式で、「サステナ未来賞」と「リスペクト賞」を受賞しました。

サステナ未来賞・・・持続可能であり将来に向かって  
有益な取組に対する特別賞  
リスペクト賞・・・参加校の相互投票により最多得票  
だった取組に対する特別賞



**【全国版・第1回】みどり戦略学生チャレンジ**

我が国の食料・農林水産業は、国内の食料安定供給や食生活を支える重要な産業です。一方で、生産者の減少・高齢化や地域コミュニティの衰退、地球温暖化や生物多様性の喪失などの様々な課題に直面しています。また、近年は、国内外のあらゆる産業において、SDGsや環境への対応が不可欠となり、持続的な生産・消費への関心が高まっています。

こうした状況を踏まえ、農林水産省では、2050年に向けて、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現するための新たな政策方針として、2021年に「みどりの食料システム戦略」を策定しました。戦略の実現に向けては、調達、生産、加工・流通、消費の各段階の幅広い関係者が一体となって環境負荷低減に取り組み必要があります。学生の皆さんは、2050年に我が国を担う中核世代であり、皆さんのこれからの取組に日本や世界の未来が懸かっています。

みどり戦略の主役として、日本の食料・農林水産業をリードするために、環境に配慮した取組にチャレンジしてみませんか。

**●対象：**  
①高校の部  
（高等学校、高等専修学校、高等専門学校（3年生以下）の学生により構成されるグループ又は個人）  
②大学・専門学校の部  
（大学、短大、専門学校、高等専門学校（4年生以上）の学生により構成されるグループ又は個人）  
＊授業の一環、部活動、ゼミ・サークル活動等、参加形式は問わない。学校の垣根を超えたグループも可。  
＊農業高校、農業大学校等、農業に関係する教育機関に限らない。

**●募集期間：**  
参加宣言：令和6年1月～5月  
取組実施：令和6年1月～10月  
取組報告：令和6年10月  
ポスター（A版縦長1枚）  
※全国大会出場者はポスター発表動画（4分以内）を添付提出  
＊優秀作品は表彰予定  
（最優秀の取組には農林水産大臣賞を授与）

**●内容：**  
・みどりの食料システム戦略に基づいた取組を実施  
＜具体例＞  
調達：生産段階でのプラスチック削減、産地の活用  
生産：土壌分析やドローンを活用した化学肥料・化学農薬の低減、  
バイオ炭の農地土壌への投入技術  
加工・流通：環境負荷を低減した農産物の市場拡大  
消費：見た目重視の商品選択の見直し、  
食品ロス削減の仕組み作り  
・取組概要を取りまとめたポスター・発表動画を「学生チャレンジ」として各種イベント、YouTube配信等により紹介  
・意見交換会等による参加チーム間の交流を予定

＜事務局＞  
農林水産省  
大学等みどりの食料システム戦略グループ（担当：渡部、山崎、嶋山）  
総務課総務・女性課（担当：山本、星）  
☎ 03-3502-8056（みどりVG）、03-6744-2162（総務・女性課）  
✉ midori-challenge@maff.go.jp

農林水産省 詳しくはこちら ▶

そして、2月25日（火）には、農林水産省北陸農政局新潟県拠点から、支局長や総括農政推進官、主任農政推進官の方々にご来校いただき、授賞式が行われました。1年間、取り組んできた活動が認められ、賞を受賞したことは、達成感や今後のモチベーション向上につながりました。

農業生産コース作物専攻では、来年度も「GLOBALG. A. P. 認証取得と GAP 認証の普及活動」、「GAP 認証米の海外輸出」、「文部科学省 DX ハイスクール事業によるスマート農業の実践」、「お米甲子園での金賞受賞」に向けて、高校日本一の稲作業を目指して邁進していきます！

稲作業（いなさくぎょう）・・・本校作成の造語。稲作の栽培から販売・流通までの一連の作業のこと。



授賞式での取組みに関する質疑応答



表彰状の授与

北陸農政局みどり戦略学生チャレンジ「第1回みどり戦略学生チャレンジ北陸大会」の受賞チームが決定！  
<https://www.maff.go.jp/hokuriku/news/press/kikaku/250212.html>